

平成29年度 地球の子ども株式会社

Montessori ちゃいるどほうす中吉田事業報告

平成30年3月24日
地球の子ども株式会社
代表取締役 乾 泰代

1. 事業目的と役割

保育園は児童福祉法に基づき、乳幼児の健全な発達のための温かい家庭的な保育園を目指すとともに、地域の児童福祉活動を行うものとし、厚生労働省が定める『児童福祉施設最低基準第35条』により『養護と教育を一体的に行うこと』を特徴とし、環境を通して子どもの保育を行う役割を担い、保護者に対する援助を行います。

2. 保育所の運営

(1) 沿革・経営組織

(別紙参照)

(2) 開所日

月曜日～土曜日

(3) 開所時間

7:30～18:30 (延長保育18:30～19:00)

(4) 休園日

日曜日、国民の祝日及び休日

年末年始(12月29日～1月3日)

法人が特別必要と認めた日

(5) 年齢別入所児数

0歳児 12名

1歳児 12名

2歳児 9名

3歳児 10名 合計43名

(6) 職員数

23名 (園長1名 常勤保育士11名 パート保育士5人 保育補助2名 バイリンガル講師1名 事務員1名 調理員2名)

(7) 職員資格等

保育士・幼稚園教諭・小中高特別支援学校教諭・幼児体育指導者・栄養士
モンテッソーリ教育専門教師・子育て支援員・児童厚生指導員

社会福祉主事・児童福祉司・知的障害者福祉司・家族療法カウンセラー・チャイルドカウンセラー・チャイルドコーチングカレンダー・行動心理士・整備管理者・防火管理者・保育所主任保育士研修修了 等

(8) 職員会議の開催状況

組織としての各分野のリーダーの育成と配置、各職員が専門性を認識し、発揮できる役割分担の徹底と協力体制の弾力化を目標に以下の会議を開催。

- ・職員全体会議（4月）
- ・業務会議（第1、第3火曜日の午睡時）
各行事の内容検討と反省、クラス毎の給食会議、月案に基づく環境会議、安全管理、危機管理、ヒヤリハット、事例検討
- ・研修会議（第2、第4火曜日）
モンテッソーリ教育基礎研修、月案に基づく環境研修会議
- ・給食会議（月1回）
中吉田、草薙合同

(9) 職員研修についての取り組み

- ・円滑な運営と職員の質の向上を図る為、職員全員参加の職員研修及び園内外研修他、各種研修を積極的に実施。（研修実施状況については別紙参照）
- ・職員の研修参加費用、旅費、交通費全額支給、宿泊の場合出張手当あり
- ・毎月の園研修参加者には勤勉手当を支給（半日 2000 円、一日 7000 円）
- ・モンテッソーリ実践講師による保育現場での実践研修（毎月 1 週間）
- ・モンテッソーリ教師資格取得希望者にはコース費用全額支給
- ・新人入社時研修
新卒者研修（2月～3月ちやいどはうす森の保育園にて3週間）
新人研修（2月～3月ちやいどはうす森の保育園にて1週間）

(10) 職員の保育計画・記録について

一人一人の成長発達にあった環境づくりを達成する為に、個別の月報、週案、日報（0歳児～2歳児までの観察記録）の作成をしています。

- ・児童票に基づく月案作成（毎月）
- ・月案に基づく週案作成（毎週木曜日の午睡時）
- ・日報（観察記録0歳～2歳）
- ・クラス日誌（3歳～就学前）

(11) クラス編成について

【1階フローアー】

環境との信頼関係・運動の獲得・言葉の獲得・身辺自立を目標に、個別

の発達段階に合わせた保育を推進するため、個人差の大きい0歳から3歳までの成長を4段階に分けて環境を構成し、個々の発達段階に応じた保育環境の実現を図っています。

1段階目 歩けるようになるまで

2段階目 10歩くらい安定して歩けるようになった頃

3段階目 座って手指の活動ができるようになった頃、言葉が増える頃

4段階目 着脱、排泄、食事など、日常生活の自立に向かって、自分の事を自分でやりたい頃

1階フロアーの歳児別グループ名は以下の通りです。

プーポ組（0歳児）ピッコロ組（1歳児）ピッチーノ組（2歳児）

【2階フロアー】

自分のことが自分でできるようになり、集団でのルールがわかるようになってから、それまでに獲得した運動機能をより洗練しながら、お友達と一緒に知的好奇心を探求していく修学までの縦割クラスです。モンテッソーリ実践講師による日常生活の練習・感覚教育・算数教育・言語教育・文化教育（音楽、美術、体育、理科、社会、食育）などの各分野の専門的な援助を行っていきます。

2階歳児別グループ名は以下の通りです。

マーレ組（年少）テラ組（年中）チェーロ組（年長）

（12）特別保育

延長保育 18：30～19：00

障害児保育

（13）機能強化推進事業 総合防災対策のための必要な修繕・物品管理

（食料・水）

| | | |
|-----------------|--------|--------|
| 尾西食品アルファ米12種セット | 120個 | |
| 災害備蓄用 缶詰パン2個入り | 48缶 | |
| ヤマザキビスケットルヴァン | 13枚×8 | 保存缶10缶 |
| ビスコ | 5枚×6 | 保存缶30缶 |
| 三立ホームサイズカンパン | 475g | 保存缶10缶 |
| 志布志の自然水備蓄用 | 2ℓ144本 | |
| （避難用具・災害時用品） | | |
| カセットガス12本セット | 3セット | |
| カセットコンロ | 2個 | |
| 防災ラジオ | 1個 | |
| 乳幼児用防災頭巾 | 60個 | |
| 大人用ヘルメット | 24個 | |

| | |
|-------------|------|
| 非常用持ち出しリュック | 6個 |
| 非常用トイレ | 150個 |
| 防災アルミブランケット | 70枚 |
| AED | 1台 |
| 懐中電灯 | 5個 |
| 移動車 | 1台 |
| バギー | 2台 |

(14) 施設の整備

Montessori ちゃいどはうす中吉田園舎・園庭の新設

(15) 健康管理の実施

- ・ 医師による園児の健康診断
村上小児科（村上 仁）年2回実施
- ・ 歯科医師による園児の歯科検診
かめやま歯科（亀山 太一）年2回実施
- ・ 歯科衛生士による歯みがき指導（年1回 3歳児以上）
身体測定 毎月1回
- ・ 職員の定期健康診断 年1回
- ・ 職員の検便検査 月1回

（赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157・腸チフス・パラチフス）

(16) 非常災害防止の実施状況

- 避難消火訓練 毎月一回
- 交通訓練 園外活動時毎回実施
- 静岡市普通救命講習修了証取得（8月 全職員）

(17) 第三者委員会の設置

掲示板・ホームページによるご意見・ご要望・苦情についての窓口の設置

(18) 感染症予防対策

- ・ 次亜塩素酸を使って床、教具の消毒（一日2回実施）
- ・ おむつ交換は、使い捨て手袋を使用
- ・ おむつの持ち帰り無し（園で処分）の実施
- ・ 加湿空気清浄器を各クラスに設置
- ・ 温湿度計の設置。
- ・ 洗濯物を分けて洗濯（床拭き、床以外）
- ・ 20分に一度の給水
- ・ 手洗い、うがい指導の実施

- (19) 駿河区消防署監査（4月）
防火管理者 園長 遠藤千砂子
須藤商会の第三者確認済み
- (20) 行政巡回支援（6月、1月）
高評価
- (21) 行政監査（1月）
指摘事項なし

3. 保育方針

『Montessori ちゃいるどはうす』は生命の保持と情緒の安定を土台とし、保育指針の保育内容を軸に5領域の相互関係、総合的関わりを重視し、モンテッソーリ教育法と自然体験活動を融合させた内容で、世の中にある、ありとあらゆる子ども達の興味関心を実際に体験することで、全ての子どもが持っている『生きる力』を子ども達自身が発見し、育成していく場を愛と知識を持って提供していきます。

4. 保育目標

- ・たくさん遊べる 元気な身体が育つようお手伝いします。
- ・自分の事を自分でやりたい意欲が育つようお手伝いします。
- ・自分で感じて自分で考える楽しさが育つようお手伝いします。
- ・物事に感動する 豊かな感性が育つようお手伝いします。
- ・人を思いやる 優しく強い心が育つようお手伝いします。
- ・生きる力を子ども自身が育成できるようお手伝いします。
- ・大切な一人の人間としての全人格の形成をお手伝いします。

5. 保育内容

(1) モンテッソーリ教育

『子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育する事。その際、子どもの個人差に十分配慮する。』『子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。特に乳幼児にふさわしい体験が得られるように生活や遊びを通して総合的に保育する。』以上の保育指針の保育の方法に基づき、一人一人の子どもを注意深く観察しながら、発達過程によってさまざまな体験が日常的に提供できるように、現代の科学的根拠に基づく教育法『モンテッソーリ教育』を実施しました。毎日の生活の中で、発達段階に応じて、以下の分野の活動を展開しています。

- ・日常生活の練習
- ・音楽
- ・美術
- ・造形
- ・感覚教育
- ・言語教育
- ・算数教育
- ・文化教育
- ・平和教育

29年度モンテッソーリ教育費

| | | |
|---------|-------------|------------------|
| ・収入 | 387,000円 | (保護者協力金毎月一人750円) |
| ・支出 | | |
| 教具代金 | 1,293,753円 | |
| 研修費 | 1,035,126円 | (外部講師代含む) |
| 職員研修参加費 | 630,000円 | |
| 支出合計 | 2,958,879円 | |
| ・収入－支出 | －2,571,897円 | |

(2) バイリンガル教育

バイリンガル教育導入により自分と他者の違いを知り、違いを受け入れられる豊かな心を育みながら、グローバルな平和教育を目指して取り組んでいます。

29年度バイリンガル教育費

| | | |
|--------|-------------|-----------------|
| ・収入 | 516,000円 | (保護者協力金毎月1000円) |
| ・支出 | | |
| 教材費 | 58,395円 | |
| 人件費 | 2,235,000円 | |
| 合計 | 2,293,395円 | |
| ・収入－支出 | －1,777,395円 | |

(3) 子ども主体の教育.

大人主体ではなく子ども自身が自ら選びとことん活動できる環境の構成に努め、保護者と連携をとりながら、子どもが集団のルールを基に、生活のリズムを整え、園での生活を通して社会性を育めるように、子ども目線の生活作りをしています。

(4) 食育

子どもと食べ物の10の健康な関係の提案

- ① 離乳期を大切に過ごす。
- ② 子どもが食べたくないことを大切に考える。

- ③ 無駄な間食をしない。
- ④ 食事の瞬間を楽しい時とする様に努める
- ⑤ 食べてしまうよう強制しない
- ⑥ 食事を処罰に使わない
- ⑦ 食事のルールは守る
- ⑧ 食べ物を粗末にしない。
- ⑨ 子どもが自分の量や、好みの選択ができる余地がある事。
- ⑩ 食事を楽しむ事

以上10項目の子どもと食べ物の健康な関係の提案をしながら、子どもが健康で健やかなる身体作りを目標に、安心安全な楽しい給食の提供に努めると同時に、子どもが生活と遊びの中で意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食事を楽しみあう子どもに成長することを目標に食育を推進しています。

- ・給食の実施

(乳児) 園児の発育状況に合わせ、離乳食から普通食への給食の実施

(1歳児以上) 園児の発育状況に合わせ、完全給食の実施

(2歳児以上) バイキング給食

(保護者) 給食参観会

- ・特別給食

毎月の行事ランチ

年度末お弁当ランチ

- ・クッキング活動 (歩けるようになって手が使えるようになってから)

バナナの皮むき、みかんの皮むき、枝豆の皮むき、ゆで卵の殻むき、クラッカーサンド、シャービック、スイートポテト、たたききゅうり、みかんジュース、白玉団子、クッキー、ホットケーキ、ヨーグルトカップケーキ、お好み焼き、たこ焼き、チョコたこ焼き、たこ焼き風アメリカンドック、おにぎり、庭で収穫した野菜で即席漬物、等

- ・給食献立表の配布 (毎月)

(5) 戸外活動

2月に白鳥先生のご家族の皆さんが、園庭に砂場を造ってくれました。

- ・園庭活動

畑、ガチャポンプ、築山、小さな小屋、橋渡り、ボルタリング、芝滑り、アスレチック、サイクリングロード、一本橋、砂場 等

- ・散歩

中吉田公園、中ノ郷公園、谷田宮の後公園、谷田芝生広場、熊野公園、

国吉田公園、静鉄電車の線路まで

(6) 自然活動

子どもたちと花壇の世話や園庭での菜園活動に取り組んでいます。今年度は名倉先生の指導のもと、畑を作るため、石拾いから始まり、土を掘り起こし、畝を作り、種をまきました。日々成長する野菜を見ながら子どもたちも一緒に立派に成長していく様子が見られました。収穫のたびに、その野菜を一心に食べ続ける子どもたちに驚かされました。

・菜園活動

スティックセニョール、ほうれん草、大根、ブロッコリー、カリフラワー、白菜、キャベツ、芽キャベツ、ジャガイモ、等

・花壇

雅子先生の指導のもと、チューリップの球根を植えました。

(7) 生物活動

ご近所の方や、園長知り合いから金魚とメダカをいただいて飼育する活動から始まりました。散歩の途中で見つけたバッタやおむし、セミの抜け殻、ダンゴ虫等々。2階には生物室を設置し様々な生物を飼育し子どもたちと一緒に世話をしています。

・魚類 金魚 メダカ

・鳥類 オカメインコ (おーちゃん)

・両生類 ウーパールーパー

・昆虫類 カブトムシ クワガタ

・その他 カタツムリ

(8) 保護者との連携

保育は保護者と共に子どもを育てる営みであり、子どもの24時間の生活を視野に入れ、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭との連携を密にして、積極的に乳幼児の子どもを育ちを支え、保護者の養育力向上につなげていけるように、以下の方法で『食事』『生活リズム』『衛生』『健康』『子育てについての精神的不安解消』のアドバイスをしています。

・相談室の開設 (常時)

・子育て講演会の実施 (4月)

・ホームページでの情報公開と更新 (常時)

・待合室の掲示板での情報公開と更新 (常時)

・連絡帳 (随時)

・園だより (月1回)

・クラスだより (季節ごと)

・子育て参考資料の配布 (不定期)

- ・その他便り（不定期）
- ・苦情解決システム設置
- ・地域の各機関との連携

（9）地域との交流

今年度は、城内中学校の特別支援学級の生徒がたくさんの籠を作って当園に届けてくれたり、勤労感謝の日に、3歳児がクッキーを焼き「ありがとう」のメッセージをそえて近隣のお世話になっている方々にお渡ししたりしました。

- ・近隣住人
- ・消防署
- ・美術館
- ・日本平動物園
- ・ショクザイ
- ・小中高校・大学、専門学校、等

（10）主な行事

- 5月 こどもの日
- 6月 給食参観会
- 7月 七夕
- 8月 流しそうめん大会
- 9月 親子リクリエーション大会
- 10月 ハロウィン
- 11月 親子遠足
- 12月 クリスマス会
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り
- 3月 はばたきの会

（11）来年度の計画について

来年度、新たに次のことに取り組む予定です。

- ・年少クラスからのスイミング
- ・2階美術室（自然物を使った絵画・粘土・工作等）
- ・2階日本文化の間（茶道・華道・書道）
- ・2階音楽室（様々な楽器体験・合奏）
- ・2階積み木の部屋（積み木・カプラ・レゴ・ラキュー等）
- ・運動会
- ・乳児親子レクリエーション
- ・1階クラスと2階クラスが分かれての親子遠足

- ・夏祭り
- ・地域子育て支援の実施
親子でモンテッソーリ教育体験等